学校番号	328

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史探究（実教出版）						
副教材等	歴史風景観世界史のミュージアム（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合で身につけた歴史の学び方をふまえ、資料を活用した学習を充実させ、歴史総合と重なる近現代史は、より発展的に学習できるようにします。全般的に詳細な内容を学ぶのではなく、生徒の興味・関心をもとに、世界の歴史の大きな枠組みの理解・考察を深め、地球世界の課題について、その解決方法を探求する力を育てることをめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	世界史へのまなざし	1．地球の誕生と生命の進化	a:人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に，人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 b:諸事象を捉えるための時間の尺度や，諸事象の空間的な広がりに着目し，主題を設定し，地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し，表現する。 c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度
		2．日常生活からみる世界史	a:衣食住，家族，教育，余暇などの身の回りの諸事象を基に，私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。 b:諸事象の来歴や変化に着目して，主題を設定し，身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し，表現する。 c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度

	第1部 諸地域の歴史的特質の形成	諸地域の歴史的特質への問い	a:生業，身分・階級，王権，宗教，文化・思想などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 b:文明の形成に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し，問いを表現する。 c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度
		第1章 古代文明 第１節 農耕と牧畜のはじまり 第２節 オリエント文明 第３節 インダス文明 第４節 中国文明	a:オリエント文明，インダス文明，中国文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解する。 b:古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度
2学期		第2章 東アジアと中央ユーラシア 第1節 春秋・戦国時代の変動 第2節 中国古代帝国と東アジア 第3節 中央ユーラシアの国家形成 第4節 胡漢融合帝国の誕生	a:秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。 b:東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，唐の統治体制と社会や文化の特色，唐と近隣諸国との関係，遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度

		第3章　南アジアと東南アジア 第1節　インド古代文明の形成 第2節　古代の東南アジアと海のシルクロード	a:仏教の成立とヒンドゥー教,南アジアと東南アジアの諸国家などを基に,南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。 b:南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因,結果や影響,事象相互の関連,諸地域相互の関わりなどに着目し,主題を設定し,諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き,南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色,東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し,表現する。 c:諸資料を活用し,課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度
		第4章　西アジアと地中海周辺 第1節　オリエントの統一 第2節　ギリシア文明 第3節　ヘレニズム時代 第4節　ローマ帝国 第5節　西アジアの国々と諸宗教	a:西アジアと地中海周辺の諸国家,キリスト教の成立などを基に,西アジアと地中海周辺の諸国家の歴史的特質を理解する。 b:西アジアと地中海周辺の諸国家の歴史に関わる諸事象の背景や原因,結果や影響,事象相互の関連,諸地域相互の関わりなどに着目し,主題を設定し,諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き,西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色を多面的・多角的に考察し,表現する。 c:諸資料を活用し,課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度

		第5章　西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成 第1節　ビザンツ帝国とギリシア正教圏 第2節　ラテン＝カトリック圏の形成と展開	a:ビザンツ帝国が東地中海経済圏の中心地であったこと,また東西交易路の拠点を多く存在していたことやゲルマン人やヴァイキングなど諸民族の移動によって,ヨーロッパに様々な国家が形成されたことを理解する。 b: 7 世紀のビザンツ帝国の政治・軍事的変化の原因やフランク王国とローマ教会の関係について多面的・多角的に考察し，表現する。 c:諸資料を活用し,課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			
3学期	第2部　諸地域の交流と再編	諸地域の交流と再編への問い	a:交易の拡大，都市の発達，国家体制の変化,宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 b:諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連,諸地域相互のつながりなどに着目し，諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し,問いを表現する。 c:諸資料を活用し,課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度
		第6章　イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容 第2節　ラテン＝カトリック圏の拡大 第3節　ラテン＝カトリック圏の動揺と秩序の変容	a:　教会の改革運動や教皇の動きや十字軍遠征とキリスト教圏の拡大などのラテン＝カトリック圏の拡大とその後の黒死病に伴う社会の動揺,教皇権の衰退によるラテン＝カトリック圏の動揺と秩序の変容について理解する。 b: 11世紀後半の修道院運動が果たしたや黒死病による社会の動揺について多面的・多角的に考察し，表現する。 c:諸資料を活用し,課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物 発表	提出物 授業態度 発表

		第7章　中央ユーラシアと諸地域の交流･再編 第1節　中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 第2節　モンゴル帝国の成立 第3節　東南アジア諸国の再編 第4節　海域世界の展開と大交易圏の成立	a:中央ユーラシア諸民族の立てた諸王朝が宋王朝にどのような影響を与えたのか、モンゴル帝国の発展が，衝突と同時に，さまざまな交流をもたらし,陸海のネットワークを再編させたことを理解する。 b: 宋が文治主義を採用した理由と，それがもたらした弊害や元の中国支配の特徴について多面的･多角的に考察し，表現する。 c:諸資料を活用し,課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物 発表	提出物 授業態度 発表

第２部の未学習箇所、第３部以降は、３年次探究（3 単位)、演習（2 単位）で行う

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度